

令和5年3月18日

## 地域住民による「学びの里山」整備事業実施報告書

南魚沼環境・野外教育研究会 代表 西野 仁

古いため池を囲むようにブナ、ナラ、ホオノキ林がある里山（約1.0ha）を、環境・野外教育の「学びの場」として整備する活動を令和3年度、令和4年度と展開している。この間、軽微な虫刺され程度はあったものの、他には報告すべき事故やけが、クレーム等はなかった。

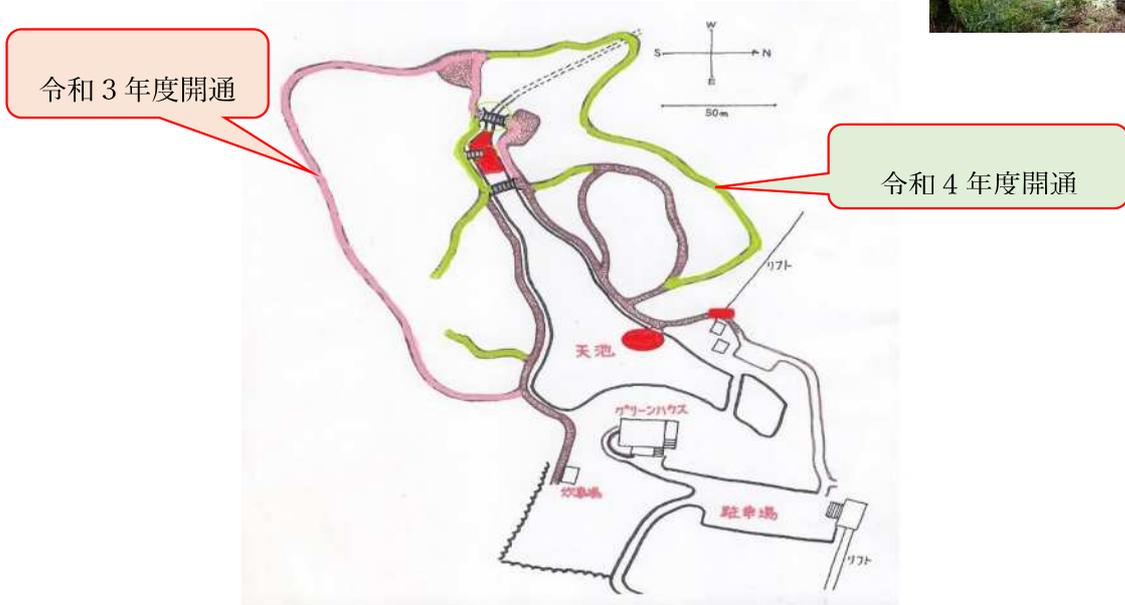
本年度（令和4年度）は、昨年度に引き続き「学びの里山」をより有効に活用できるよう、基幹となる歩道の延伸とインフラ整備、さらに生物の生息状況調査をすすめ、それを基に学びのプログラムや教材・用具など学習環境を整える。また、それらを活用して里山での学びの機会を設け、「学びの里山」整備事業を広く広報するという計画を立てた。

### 令和4年度当初に計画した6つの事業

- ① 幹線となる道路を西側まで伸ばし学びの里山を周回できるよう整備する。
- ② 高齢者や障害者を含め多くの方がより散策しやすいように枝線の小径、木道、木橋等を整備する。
- ③ 「学びの里山」の動植物調査を実施する。
- ④ ③の成果をもとに、看板類（道路や構築物などを描いた案内板、植物や樹木のネームプレート、方位板、解説板（例：希少生物、特徴的地勢、炭焼き釜跡など）などを設置する。
- ⑤ 「学びの里山」での体験学習プログラムの開発を行う。
- ⑥ ⑤のプログラムを実際に行って評価・検討するとともに、「学びの里山」に対する市民の認知度を高めることも意図して、地域の子供たちを対象に「里山塾」を企画・実施する。

## 計画した6事業についての実施状況

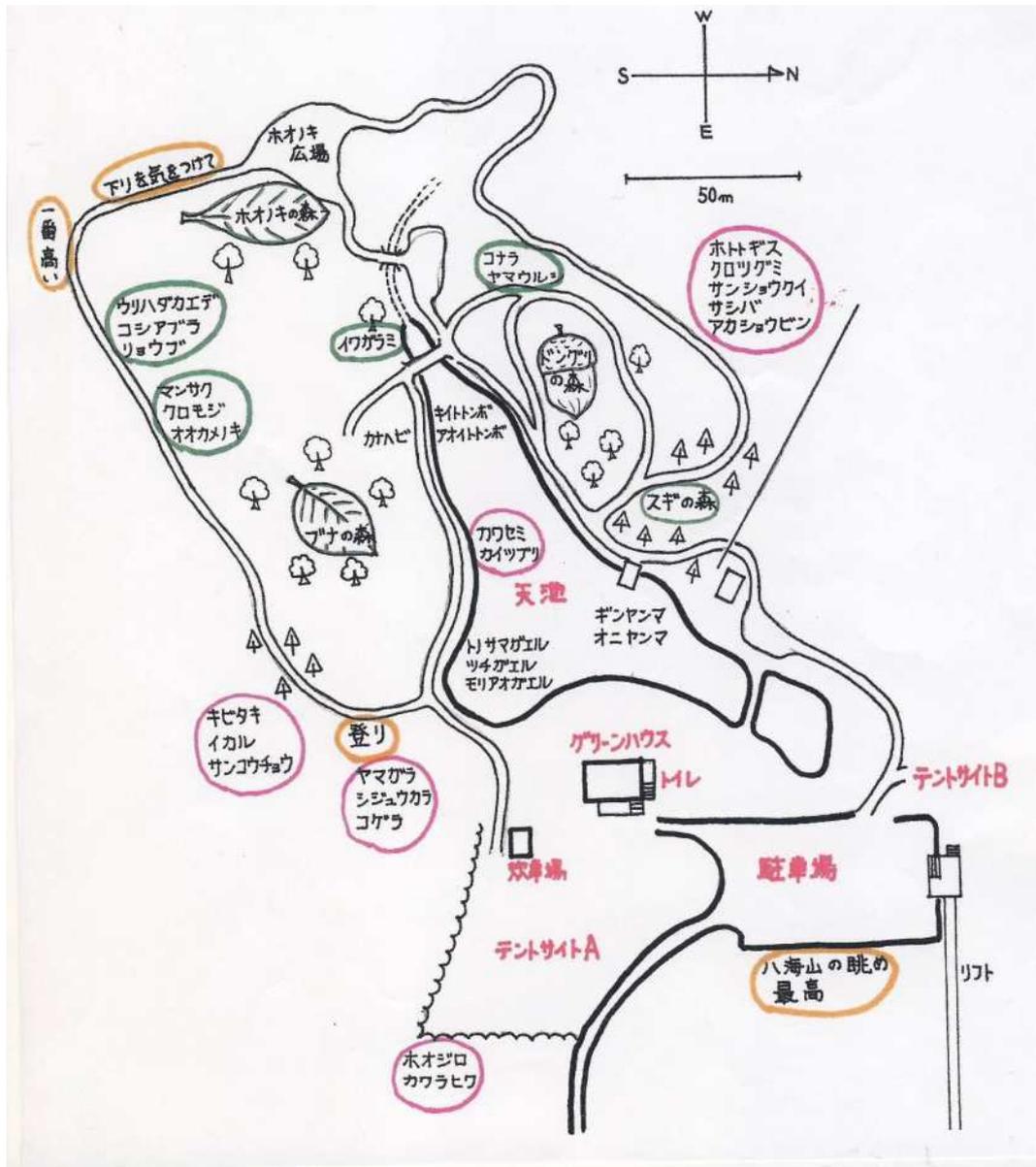
- ① 計画通り実施でき、里山を一周できる外周道路が開通した。(6月中旬～7月下旬)



- ② 小径、木橋は出来上がった。しかし、木道は敷設を始めたが、敷設場所のぬかるみは少なくとも100年以上前には田んぼとして使われていたいわゆる「山田」だったことがほぼ裏付けられたことから工事を中断した。(次年度に山田を復元し、敷設した木道は近くに移設する予定である) (10月～11月下旬)



- ③ 里山内に生息する動植物の調査を行い、モリアオガエル、アカショウビンなど多くの生物の生息が確認された。(4月～11月)



- ④ 看板類の設置については、方位版を除き作成し、現場に設置した。また樹木に20枚ほどの「樹木のネームプレート」を取り付けた。(6～7月) さらに特徴的植生を有する4つの森林を「ブナの森」「ウノキの森」「ドングリの森」「スギの森」と命名し、学びの里山自然解説板を立てた。(10月～11月) また全体案内図と動植物マップの作製をした。(11月～12月) 今後さらに「炭焼き釜跡」「山田跡」「天池遺跡」などの解説板設置に向けて情報収集等を継続する。なお、冬季間は深い積雪のため樹木等のネームプレート以外は、降雪直前に引き抜いて保管してある。



- ⑤ ハード面の整備に加えて、これら里山の教育資源をどう利用するかソフト開発も行った。「自然観察」「林業体験」「なたやナイフの扱い方」「枝や木の実などを使ったネイチャークラフト」「飯盒を使って焦げずにおいしいご飯を炊く方法」「星座観察」「カヌー体験」など順調に進んでいる。これらのプログラムは、5回のデーキャンプと市立小学校の自然活動などで実際に展開した。



- ⑥ 当初「学びの里山塾」は8月に実施する予定であったが、コロナウイルス感染の影響で中止の判断をせざるを得ず、予定通りには実施出来なかった。そこで、当初、計画にはなかったが、「学びの里山：その自然と活動展」を南魚沼市図書館「本の杜」で11月7日～30日に開催した。開催期間中に南魚沼環境・野外教育研究会の会員による質問コーナーを開設した。市民を中心に多くの来場者があった。



一度は開催をあきらめかけた「学びの里山塾」ではあったが、コロナ感染数が下降気味となった2月と3月に日帰りのホワイト・デーキャンプとして実施した。スノーシューやかんじきを付けて里山をトレッキングし、ソリ遊びやおやつ作りをした。2月25日「学びの里山塾第1期」は参加者11名（子供10名、大人1名）、3月11日の第2期は参加者39名（子供29名、大人16名）で、それぞれ8名のスタッフがお世話した。第1期は小雨だったが3月の第2期は晴天だった。参加者もスタッフも大いに楽しんだ。

<リーダー・スタッフ研修会>



<学びの里山塾第1期>



<学びの里山塾第2期>



## まとめ

令和4年度の「学びの里山」整備事業の結果、「全体図」が出来上がった。まだ、正式にオープン宣言をしてはいないのだが、市内の団体や学校の自然体験教室などに利用されはじめ、少し、ほっとしている。

次年度は、一応の整備事業の仕上げを目指し「ため池」や放置されてきた「山田」を整え活用することと、公道とのアクセスを改良したい。また、いかにして事業を継続・継承するかについても検討する。 最後になりましたが、貴財団の多額の支援に心から感謝申し上げます。

### 南魚沼 学びの里山全体図 (含む五日町天池教育キャンプ場)

